

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業（バイパス整備）					
地区名	西三河都市計画道路3・4・83知立環状線					
事業箇所	知立市内幸町平田地内始め					
事業のあらまし	<p>都市計画道路知立環状線は、名鉄知立駅の西側を南北に貫く都市計画道路知立南北線を起点に、都市計画道路安城知立線、都市計画道路本郷知立線等と交差し、国道1号までを結ぶ路線である。</p> <p>知立駅周辺は、名鉄名古屋本線・三河線が中心市街地を東西・南北に縦貫しており、鉄道と道路の平面交差が、交通渋滞の原因となるとともに、市街地の活性化を阻害している。</p> <p>本事業は、平成12年度に事業認可を受けて着手した知立駅付近連続立体交差事業及び安城知立線、本郷知立線等の街路整備と連携し、一般県道安城八ツ田知立線のバイパスとして、安城知立線交差部から本郷知立線交差部までの区間を県事業で整備するものである。</p> <p>本事業により、知立駅周辺の歩行者・自転車等の交通安全が確保されるとともに、主要幹線道路である国道1号と知立市中心市街地との交通円滑化が図られ、知立駅付近連続立体交差事業の効果を高めることができる。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知立市中心市街地の交通円滑化 ○歩行者・自転車等の交通安全の確保 <p>【副次目標】</p>					
事業費	事業費		内訳			
	14.9億円		■工事費0.9億円、■用補費13.5億円、■その他0.5億円			
事業期間	採択予定年度	平成27年度	着工予定年度	平成28年度	完成予定年度	平成35年度
事業内容	バイパス整備（延長0.33km、幅員23m、車線数2）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	知立駅周辺は、慢性的な渋滞が発生しており、自動車交通ネットワークに支障をきたしています。また現道には、歩道がないため、歩行者・自転車等の安全な交通環境を確保する必要がある。				
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。			
		<p>【理由】</p> <p>歩道が設置されることにより、歩行者・自転車等の安全な交通環境が確保されるとともに、連立事業と連携し、慢性的な渋滞の解消が図られることから、事業の緊急性は高く、事業を実施することで大きな効果が期待できるため。</p>				

③事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="5">14.0億円</td> <td colspan="3">0.9億円</td> </tr> </tbody> </table>										H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	工種区分	調査設計	←→								用地補償	←→								道路工事						←→	←→		事業費(億円)		14.0億円					0.9億円		
			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35																																															
	工種区分	調査設計	←→																																																						
用地補償		←→																																																							
道路工事							←→	←→																																																	
事業費(億円)		14.0億円					0.9億円																																																		
2) 地元の合意形成	<p>知立駅付近連続立体交差事業と合わせて地元説明会を行った結果、反対意見はなく、地元から大きな期待を寄せられている知立駅付近連続立体交差事業に関連する本路線の整備についても、地元との合意形成が図られている。</p>																																																								
判定	A	<p>A : 事業計画の実効性が期待できる。 B : 事業計画の実効性が期待できない</p> <p>【理由】</p> <p>円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性は高いものと考えられます。</p>																																																							
III 対応方針																																																									
事業実施が妥当である。	<p>事業実施が妥当である。 : 上記①～④の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。 : 上記以外のもの。</p>																																																								
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																									
<p>■対象(事業完了後5年目) □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>整備による周辺交通の変化(自動車の交通量及び旅行速度、歩行者・自転車交通量)</p>																																																									